


オーダーメイドで顧客ニーズに応える金物製造小売店、ホームページ掲載で顧客範囲が拡大

1 1. 干場金物店

店舗名	干場金物店	【店舗外観】 
所在地	石川県鳳珠郡能登町字宇出津新 23	
業種	刃物・金物製造小売業	
所属商店街名	能都町商業振興協同組合	

【店舗の概要】(沿革、立地、経営者、取扱商品など)

石川県能登町の宇出津（うしつ）地区はイカ釣りなどの漁港であり、同町の中心市街地である。5つの商店街で能都町商業振興協同組合を組織し、当店はそのうち新町通り（国道249号）沿いの商店街の一角にある。屋号は「ふくべ鍛冶」と称し、明治41年創業の昔ながらの鍛冶屋である。



▲宇出津はのどかな漁港



▲新町通り沿いは拡幅と個店改装が始まっている

昭和初期に現在の場所に店舗兼鍛冶場の事業所を構え、その後昭和52年に工場を郊外へ移転し、現在地は店舗専門とした。取扱商品は地元の農林水産業者用の鎌、鍬、鋤、鉋、包丁、鋏といった刃物・金物類である。

経営者の干場氏は当店の3代目。昭和37年に同業に就き、刃物類の仕入販売のかたわら、全国の刃物産地（高知県土佐刃物、福井県越前刃物、大阪府堺刃物等）で研鑽し技能を向上させてきた。

【当店の特長】(特に優れている点)

①顧客の細かなニーズに応えるオーダーメイドができる

農林水産業に従事する方は、その土地によって異なる器具を使う。例えば農機具である鍬（クワ）はその土地の土質によって刃の形状や角度が微妙に異なる。砂地であれば、クワを「打ち込む」のではなく「引っ張る」感じで使うので柄と刃の勾配が強い方がよい。一方、粘土質の土地であれば深く掘るために勾配が少ない、といった具合である。ほかには、漁師が使う万能包丁「マキリ」やサザエの身をかき出す道具などもある。当店は鍛冶屋であるため、こうしたその土地や用途に合った道具類を顧客のニーズにきめ細かに対応して提供することができる。



▲刃先の形状や勾配が微妙に異なる鍬



▲「お花のおもてなし」とともに店頭を飾るマキリ包丁 (写真上段)

②販売時に「刃付け」してお渡しすることで、切れ味抜群

店舗販売の際には、当店オリジナル商品はもとより、仕入れた既製品も「刃付け」（仕上げの研磨）してからお客様にお渡ししている。このことによって、初めて使用する際の切れ味が他店で購入したものと大きく異なってくる。こうして顧客の固定化（ファンの増加）につながり、また、修理売上の増加にもつながっている。

また、店内では包丁研ぎ体験もできるようになっている。



▲「刃付け」や「包丁研ぎ体験」をするコーナー

③ホームページ掲載等により顧客範囲が拡大

こうした強みをつり雑誌や商工会のホームページへ掲載したところ、県外から多くの注文が来るようになった。また、得意分野の農林水産業関係の道具類はもとより、これまで作っていなかった品が特注で入るようになった。例えば、囲炉裏で使う五徳や自在カギ、蠟燭立て、といった生活雑貨などである。

このように、雑誌やインターネットでPRすることによって、顧客範囲（商圈）が拡大し、今では県外からの顧客が10%を占めるとともに、取扱商品も拡大した。地元農林水産業者の減少や機械化によるニーズの減少で先細りが懸念されるなか、このことは当店にとって将来の方向性を明確化する大きな自信となった。

現在、新町通りは拡幅と個店改装を進めており、当店も近く店舗改装の予定である。ご子息とともに、より良い店舗にするため研究中とのことであり、今後は、店舗改装に合わせて自店専用のホームページを立ち上げ、さらに多くの顧客に対応していく意向である。



▲商工会で作成した「能登お店の物語」に紹介された当店

【商店街事業の概要】

平成 14 年度から旧能都町中心市街地の 5 つの商店街を対象に、商店街マネジメント事業を実施している。平成 14 年度は、商店街マネージャーがまんなか市等のイベント、おかみさん会の活動等の指導を行い、平成 15 年度は、「能登お店の物語」という商店街小冊子の作成とホームページへの掲載、個店への巡回相談・アドバイス等を実施し、平成 16 年度は、能都町地域の特長を明確化して内外にアピールするため、「魚の美味しいまちづくり」をテーマに各種イベントを実施した。
(詳細は 135 ページを参照。)

【商店街事業と当店との関連】

マネジメント事業で実施した「能都お店物語」の作成とホームページへの掲載は、当店の顧客を県外へ拡張させるとともに、取扱商品の拡大をもたらしており、かなり効果を上げたといえる。また、今後の当店の方向性を明確化させる効果もあった。

【店舗概要情報】

店舗概要				
店舗名	干場金物店		店舗外観	
所在地	石川県鳳珠郡能登町宇出津新23			
創業年	明治41年			
経営者名	干場 勝治	年齢		59
所属商店街名	能都町商業振興協同組合			
店舗沿革	<p>初代は明治41年に現在地とは別の場所に鍛冶業を創業。 昭和初期に現在地(新町通り(国道249号)沿い)へ移転。 昭和52年には工場を郊外へ移転し、現在地は店舗のみとなる。 現社長は3代目である。</p>			
業種	金物製造・小売業	取り扱い商品・サービス		
販売方法別売上構成		商品・サービス	売上構成	
仕入販売	45 %	鎌、鋏、包丁、鋸	%	
加工販売	30 %	包丁、鋏、ノミなどの修理	%	
製造販売	25 %	鋏、鉋、包丁、鎌	%	
製造卸	0.02 %	自在カギ、三徳、鋏	%	
サービス	%		%	
その他()	%		%	
売場面積	45㎡	従業者数	2人	
立地環境	国道249号線沿いの新町通り商店街の一角にある。能都町の中心市街地に立地し、自動車、人ともに町内で最も多く通行する地域である。			
商圈	町内が90%であるが、能都町商工会のホームページに載せた(能都お店物語)ところ、「ホームページを見て来た」というお客様や「つり雑誌を見て来た」という遠方からのお客様が増えてきている。			
店舗レイアウト				
				